

令和5年度 シラバス

整理番号

T機電工基16

教科名	機械電子 科	科目名	工業技術基礎		
履修学年	1 学年	履修	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	単位数	2 単位
使用教科書 副教材等	各担当教員プリント、製作サンプル、プロジェクターコンテンツ、AutoCad				
学習の目標	工業に関する基礎的な技術を実験や実習によって体験し、各分野における工業技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解させ、広い視野と倫理観を養い、工業の発展をはかる意欲的な態度を身につけさせる。				

●どのような力を、どのレベルまで身につけるのか【目指す能力とその次元】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和の取れたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術を身につけている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野から自ら思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。
評価方法	実習の作業過程で、観察・質問や小テスト等で適時適切に3観点による観点別評価を行う。	実習内容や課題についてレポートにまとめさせて提出させ、その内容と考察について評価する。学習過程の形成的評価を活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、授業中の学習活動協調性 ・実習服、実習帽、ベルト、安全靴の用意と着用状況。 ・発表会等を実施した場合は、その成果発表もかみして評価する。 ・生徒の自己評価、相互評価も参考とする。

●いつ、何を学ぶか【学習内容】

学期	学習内容	学習活動・ねらい
1 学期	【実習パート】溶接、旋盤、電気、工作、パソコン、回路 1学期ローテーション。	・「工業技術基礎」の学習を通して、工業の各分野に共通に必要な基礎的な知識、技術、態度を実験や実習を通して習得する意義を理解させる。
2 学期	【実習パート】溶接、旋盤、電気、工作、パソコン、回路 2学期ローテーション。	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止に努め、安全に作業を行う態度を身につけさせる。 ・望ましい勤労観や倫理観について理解させ、環境や資源の保全に努める態度を身につけさせる。
3 学期	【実習パート】溶接、旋盤、電気、工作、パソコン、回路 3学期ローテーション。	<ul style="list-style-type: none"> ・産業構造や就業構造について理解させ、専門技術者には職業資格の取得が必要なことを理解させる。 ・学習成果を発表する手法を学ばせ、パソコンによるプレゼンテーションの方法を身につけさせる。